

史跡百舌鳥古墳群保存活用計画（案）新旧対象

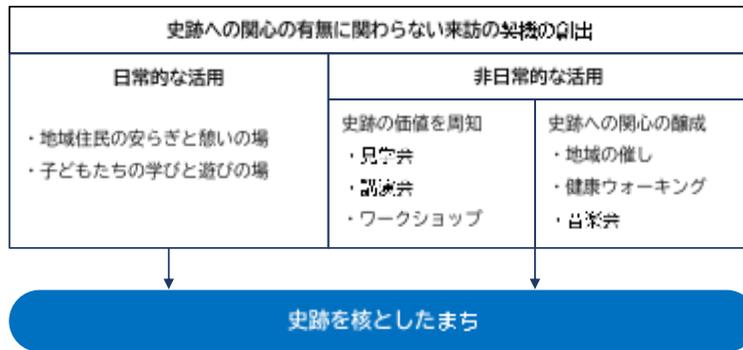
修正前

第7章 活用

第1節 方向性

活用の方向性については、整備基本計画（第1期）に示す方向性を踏まえつつ、次のとおり方向性を定める。

史跡の価値をより適確に把握するために、必要な調査研究を継続する。市民をはじめ多くの来訪者に史跡の価値を広く伝えるため、デジタル技術など、様々な手法による情報発信を行う。さらに、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の構成資産として広く知られている利点を活かし、周辺の歴史文化資源と共に積極的な活用を図る。活用にあたっては、市民との協働や関係機関と連携を図り、実施する。



整備基本計画における活用の方向性

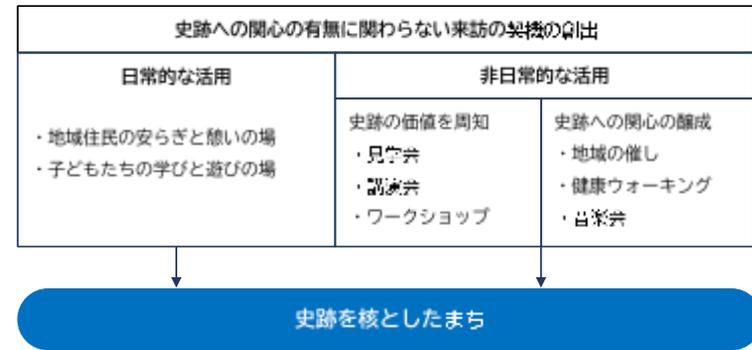
修正後

第7章 活用

第1節 方向性

活用の方向性については、整備基本計画（第1期）に示す方向性を踏まえつつ、次のとおり方向性を定める。

史跡の価値をより適確に把握するために、必要な調査研究を継続する。市民をはじめ多くの来訪者に史跡の価値を広く伝えるため、デジタル技術など、様々な手法による情報発信を行う。さらに、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の構成資産として広く知られている利点を活かし、周辺の歴史文化資源と共に積極的な活用を図る。活用にあたっては、市民との協働や関係機関と連携を図り、実施する。



整備基本計画における活用の方向性



百舌鳥古墳群魅力発信講演会



寺山南山古墳発掘調査現地説明会



小学生授業
オリエンテーション（旗塚古墳）